

若竹だよい

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にできる人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

新年度

野球で一致団結！



園長 宮竹 恒

桜の花が満開の良き日に新入職員を迎え、新年度が始まりました。

子どもたちも進級し、新たな目標に向けて歩み始めています。

令和4年度は、学園にとって節目の年になると考えています。下記の3点を重点目標として取り組む所存です。

特に小学校・中学校の分校化につきまして、高松市教育委員会を始め関係機関と連携し、開校に向け準備を進めているところです。

コロナ禍は続いておりますが、子どもたちが目標に向けて、元気に笑顔で生活が出来るよう職員と一緒に支援してまいります。

今年度もよろしくお願い申し上げます。

＜令和4年度重点目標＞

①児童心理治療施設の基本となる総合環境療法を軸に生活の中の治療を行います。子どもの権利擁護を推進し、子どもの主体性を育みます。

②子どもにより良い教育環境を提供するために、令和5年4月開校を目標に小学校・中学校の分校化を推進します。

③職員育成の充実を図ります。SV体制を整えるとともに、内・外部研修の充実を図り、職員が子どもの特性を理解し、専門的な知識と技能に基づいて支援が出来るよう努めます。

まん延防止が解除され、感染防止の配慮をしながら、河川敷で野球をしました。これまで外出の制限があったため、現地に向かう道中の町並みを見て、子どもたちが楽しんでいる様子がありました。現地の野球場の敷地面積の広さに子どもたちは驚いていました。

キャッチボールをした後、決まったポジションについて練習をしました。各々のポジションが連携しながら素早く判断して動かないといけないため、皆苦戦をしていました。しかし、徐々に捕球ができるようになり、ポジション同士の連携が取れる瞬間があると、達成感に満ちた表情をしており、その様子を見て引率の職員側も嬉しくなりました。野球を通して、皆が連携してチームになる楽しさを感じてくれたように思えました。



青峰・若竹学級だより

新組織で新年度スタート

3月の人事異動で小学校1名・中学校2名の先生方とお別れし、4月から小学校1名・中学校1名の新しい先生方を迎えて新年度がスタートしました。

今年度の担当は次のようになります。

- 下笠居小学校
若竹学級

福田 啓太郎
大高 航輝

- 下笠居中学校
青峰学級

尾野 弘司
岡本 勝彦
森木 雅大
福井 公則

この6名で「～挑戦～失敗を恐れず何度でも挑戦」をスローガンに一丸で教育活動を行っていきますので、よろしくお願ひします。



とお話がありました。宮竹恒園長先生からは、「人数の少ないこの時期をチャンスと考えて頑張りましょう。」とお話がありました。

入学式

4月8日に青峰学級の入学式が行われました。入学式では、4名の生徒が青峰学級に入学しました。



下笠居中学校の高町浩伸校長先生から「命・時間・夢の3つを大切に、充実した中学校生活を送ってほしいです。」と式辞がありました。宮竹恒園長先生からは、「今を一生懸命生きることが、未来を作りことにつながります。」と祝辞を頂きました。

始業式



4月6日に始業式が行われました。下笠居小学校の北村直行校長先生から「やさしく、かしこく、たくましく 自分で決めた目標にむけて努力し続けましょう。」



在校生も新入生も、きちんとした態度で式に臨め、とても素晴らしい式になりました。



防災訓練

4月12日、消火訓練ということで丸井工務店さんに来て頂き、園生と職員はもちろん、厨房の方等も一緒に訓練をしました。

休み時間を使っての訓練だったにもかかわらず、子ども達は真剣に話を聴いて手際よく水を噴射してくれました。また、今までの訓練で学んだ火災時の避難方法を呟く子もおり、頼もしく感じました。

大人もハッとさせられるほどの意識の高さに、驚嘆と称賛を送らざるを得ませんでした。



おやつ作り



今回のおやつ作りでは、白玉入りフルーツポンチを作りました。作業工程は簡単ですが、水と小麦粉のバランスや白玉の茹でる時間の見極めが大事でした。

男子は、おやつ作りを体験した子どもが少なく、最初はレシピにとらめっこしながら作っていましたが、少しずつ慣れていきました。慣れると早いもので最終的には、どの子ども積極的に作業に参加していました。また、片付けも手伝ってくれたので、全体の作業は1時間もかからずに終わることが出来ました。



包丁で切る作業は、中学1年生の男子が担当を希望し、缶詰に入った大きな白桃を綺麗に切ってくれました。大人の手を借りずとも、ケガをしない様に気を付けて包丁を使うことが出来ていました。

白玉を丸める時は、均等な大きさに丸めることが出来ていました。初めての作業でしたが、慣れると簡単、と話していました。



園生イラスト紹介

盛り付けも子どものみで行いました。こだわりを持ち、綺麗に盛り付けてくれたのでとてもおいしそうに出来上がりました。



自分たちで作ったおやつを食べて、中学1年の男子は「あんこが意外とフルーツポンチと合うね!」と教えてくれました。



【名前】山西 杏爾

【職種】児童指導員

【ひと言】日々、責任感とやりがいのある仕事だと実感しています。そんな中で、目の前の子どもとしっかり向き合う職員であること、常に相手の立場に立った言動をすることを意識しています。子どもたちとの何気ない生活を大切に、共に成長していきたいと考えています。精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

4 月行事

1日	お花見散歩
6日	体育館
10日	おやつづくり
12日	防災訓練
14日・15日	図書館
18日・19日	買物外出

在籍人数

令和4年5月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	2	1	3
中学生	9	2	11
合計	11	3	14

ご寄付ありがとうございます。

たまや様

食品・日用品沢山

編集後記

桜の訪れも終わりを迎え、鯉のぼりが上がる季節へと移り変わりました。新学期が始まり、新たな子ども達や新人職員の方も増え、活気付きました。これを機に新たなメンバーで心機一転、スタートを切りたいと思います。

井上

第337発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

